



## 第48回衆議院総選挙の闘いご苦労様でした

# 憲法9条を護り 民主主義の闘い強化を！！

安倍政権は臨時国会開催で冒頭解散をいたしました。野党の国会開催要求を無視し、国民の疑惑の強い森友学園・加計学園疑惑や南スーダン日報隠し追求に蓋をすることと、北朝鮮のミサイル発射や核実験による国民の不安をあおり、野党の混乱を見越し、党利党略を優先した国会解散でありました。

これらの動きの中で野党はオール野党共闘を目指すため市民連合と連携し、選挙区での競合を極力避けて「すみ分け」し、選挙区の実態に合わせて選挙協力を進める協議を取組んできました。しかし、民進党は9月28日両院議員総会を開催し「希望の党」への合流する方針を決めたため、野党合意は事実上ホゴとなりました。

希望の党は憲法改正と安保法制容認を踏絵に選別排除を表明したことにより、希望の党への参加を拒んだ枝野幸男氏らは「立憲民主党」を結成し、どちらも属さない無所属グループと三つに分裂しました。この混乱で自民党と対決する枠組みは崩れ、結果的には再び自民党の圧勝を許す結果となりました。

自民党は289の小選挙区中218議席と176の比例代表中66議席、併せて284議席（全議席の61%）を獲得しました。しかし、自公両党の得票合計は2550万票余りで「安倍政権打倒」で一致する立憲・希望・共産・社民の得票合計は2610万票あり、小選挙区制による選挙制度の矛盾が課題となりました。

今後の政治展開では、自公両党と維新の会、希望の党を加えると80%以上の議席確保となり、安倍政権は憲法改正の動きが加速される事は確実な情勢となりました。2018年度以降に憲法改正発議と国民投票が実施されると見なければなりません、これを阻止するため全力を挙げていかなければなりません。

立憲野党（立憲・民進・共産・社民・自由・無所属の会）を軸に、院内共闘と院外では9条改憲NO全国市民アクション等を中心として国民的運動を強め対抗していくことが早急に求められています。

日本勤労協連合会も、全国各地でこうした運動の中心となって闘いを盛り上げていくこととします。総選挙の闘いに全国各地で活躍された皆さんに感謝申し上げます。

日本勤労協連合会 会長 宇津井賢一

# 憲法理念の実現をめざす 第54回護憲大会を開催



ました。

1日目の開会総会では、オープニングとして大島花子さんのコンサートを実施。「イマジン」「上を向いて歩こう」「ヨイトマケの歌」を熱唱しました。

総会では、主催者を代表して藤本泰成・平和フォーラム共同代表が挨拶。「かつての戦争で批判勢力が一掃された結果、大政翼賛会が作られ、国民が騙されて戦争への道を突き進んだ。私たちは、騙されてはならない。予想される改憲発議の危機のなかで、どのような闘いが必要なのか、真摯な議論をへて、これからの取り組みに反映させなければならない」と提起しました。

また、地元挨拶として関東ブロックの持田明彦議長（埼玉平和運動センター代表）、来賓として、連合の山本和代副事務局長、立憲民主党の近藤昭一衆議院議員、社民党の吉田忠智党首が連帯の挨拶を述べました。

基調提案は勝島一博平和フォーラム事務局長が行い、「選挙結果を厳しく受け止めるとともに、「改憲」を目論むあらゆる勢力にたじろぐことなく、平和憲法を守り広げる闘いを進めていこう。そのため、自信と確信を持ち3000万署名活動を成功させ、憲法『改正』をめぐり、決して退くことのできない、負けることの許されない闘いとしてスタートさせよう」と提起しました。

10月28～30日、東京・日本教育会館で、「東アジアの平和のために、今こそ！—憲法理念の実現をめざす第54回護憲大会」が開催され、約700名が参加しました。

集会は、28日に開会総会、29日に分科会・フィールドワーク・ひろば、30日に閉会総会を開催。総選挙後、改憲勢力が3分の2を占め、改憲への動きがより本格化し、また、朝鮮半島における戦争の危機が迫るなか、これまでのたたかいを質量ともに超える運動をいかに展開するが問われる集会となり

## 憲法理念の実現をめざす

### 第54回護憲大会要綱

会場 日本教育会館ホール（東京都千代田区）  
エッサム神田ホール

【10月28日・土】

◆開会総会

◆メイン企画

「東北アジアの平和と日本」

【10月29日・日】

◆分科会

①非核・平和・安全保障 ②地球環境—脱原発に向けて ③歴史認識と戦後補償 ④教育と子どもの権利 ⑤人権確立 ⑥地方の自立・市民政治 ⑦憲法

◆フィールドワーク

「丸木美術館」（埼玉県東松山市）

「吉見百穴（地下軍需工場）」（比企郡吉見町）

◆ひろば

①男女共同参画②基地問題交流会③地元企画・第五福竜丸展示館見学

◆特別分科会/運動交流

【10月30日・月】

◆閉会総会



シンポジウムは、「東北アジアの平和と日本」テーマに開催。石坂浩一・立教大学准教授をコーディネーターに、パネラー3人（和田春樹氏・東京大学名誉教授、伊波洋一氏・沖縄県参議院議員、前田哲男氏・軍事評論家）が問題提起し意見交換を行いました。

今後の私たちの取り組みとして、3名とも、米国追随の戦争国家への道を歩むのではなく、平和憲法のもと、日朝国交正常化をはじめ、日韓、日中による平和外交の推進、民間レベルでの交流と信頼関係

の醸成などが必要と提起しました。

2日目は、7分科会が開かれました。フィールドワークとして「丸木美術館・吉見百穴（地下軍事工場跡）」の見学を行い、「ひろば」では、①「男女共同参画（女性と人権）」②「基地問題交流会」③「第5福竜丸展示館見学」、特別分科会「運動交流」が実施されました。

3日目の閉会総会は、勝島一博事務局長による「大会のまとめ」を提起。遠藤三郎賞は、個人は神垣宏さん（群馬平和運動センター）、団体は「放射能のゴミはいらない！県条例を求める会」（岡山県）が授与しました。

また、特別報告として、「オスプレイと飛行訓練に反対する東日本連絡会」の新倉裕史さんと、「高校無償化からの朝鮮学校排除に反対する連絡会」の長谷川和男さんからの取り組みの現状などの報告を受けました。

最後に、11月3日の国会包囲行動の成功と、「一人ひとりのいのちと平和に生きる権利を守り抜くために、今が頑張りどころ。先頭に立ち未来を切り開くために奮闘することを確認する」との大会アピールを採択し、集会を終了しました。



## ブロックの動き・県連の動き

### ■石川県勤労協

#### 第23回フォーラム石川 IN 金沢を開催

11月12日（日）午後1時30分～4時、石川県地場産業振興センター第7研修室にて、「第23回フォーラムIN金沢」を開催しました。

石川県勤労協の藤田会長の挨拶のあと、「高齢者医療制度の今後の見通し」と題して、社会保険労務士・吉尾双輔氏（写真右）による講演会がありました。



■ 雀宮勤労協（宇都宮市）

◆無料相談に3名（法律2名、年金1名）の相談者

9月30日（土）、無料法律・年金相談を宇都宮市雀宮地区市民センターで開催しました。

相談員は、法律を宇都宮地区労の顧問弁護士でもある大谷円香弁護士に、年金は日本年金機構の年金委員でもある当勤労協会員の横堀宏さんにお願しました。

開始時間前の9時45分に年金の相談希望者が訪れ、開始時間早々には、法律の相談者が2名訪れました。しかし、その後は相談者がなく、結局計3名の相談者（法律2件、年金1件）にとどまりました。



年金については、10年で給付可能など法律改正があり、支給もれの報道などで相談者が多いのではと予想しましたが、予想に反して年金は1名だけでした。

地域での役員によるチラシ配布や自治会・地元労組での周知、ポスター貼付に加えて、チラシ1,000枚を新聞折り込みで配布し周知を図りました。

相談に来た方に相談のきっかけを聞いたところ、自宅へ配布されたチラシを見た方が2名（相談者3名のうち1名は会員）でした。

結果として、新聞折り込みやポスターの周知効果はなかったこととなりますが、少し長い目で見ながら、周知方法については検討したいと思います。（雀宮勤労協ニュース 43号より）

コンビニ ATMで24時間いつでも使えるカードがいいね。

けっこう 使える。

あなたとわちあう 次の一歩

ろくきん

ろくきんのキャッシュカードなら

24時間利用可能

セブン銀行 イオン銀行 net

VIEW ALTE

のATM手数料が0円

さらに 全国の銀行・ゆうちょ銀行・信金などで使えて ATMお引出し手数料を即時キャッシュバック!

ZENROSAI NEWS

支えあうことの安心を、さらに多くの皆さまへ。

一人の力では難しいことも、みんなの力を合わせればきっとできる。一人一人が手を差し伸べ、みんなで心を合わせたら、それは確かな今日と、健やかな未来へとつながっていく。全労済は、支えあう心をつなげ、みんなの笑顔をつくる保障の生活協同組合。時代にあった、保障のカタチを提供していくことで、支えあう安心をこれからも、さらに広げていきます。

火災共済 60周年 2014年12月

全労済の住みいる共済	火災共済・自然災害共済	こくみん共済	総合医療共済
せいのめい共済	ねんきん共済	マイカー共済	自賠責共済
団体生命共済	交通災害共済	新団体年金共済	セット移行共済

全労済は、世利を目的としない保障の生協として、共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただくことで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら 全労済